

# 日本農村医学会倫理委員会規則

制定 平成17年 6月24日

第1条 日本農村医学会倫理委員会（以下単に「委員会」という）は、本学会における業務、研究調査が適切な倫理に基づくものか否かを審査することを目的とする。

第2条 委員会には、若干名の医学分野以外の学識経験者からなる外部委員の委嘱を必要とし、委員会の成立のためには、過半数の委員の出席と外部委員一名以上の出席を必須とする。

第3条 委員会の審査は、審査を求める者の申請、理事長の諮問、委員の提議、外部組織からの要請により行なう。

第4条 審査の申請には、「研究倫理審査申請書」（様式1）、「研究計画書」（様式2）に必要事項を記入して委員長に提出する。

第5条 審査を行なうに当たっては次の各号に掲げる観点に留意する。

- (1) 研究調査および医療行為の対象となる個人の尊厳と人権の擁護
- (2) 対象者の利益と不利益
- (3) 医学的貢献度
- (4) 対象者の理解に基づく同意
- (5) 個人情報保護
- (6) 研究調査の科学的合理性と倫理的妥当性の確保
- (7) 研究調査の公表と社会への貢献

第6条 申請者は委員会に出席して申請内容を説明し、意見を述べることができる。

2 委員会が必要と認めた時は、委員会を公開することができる。審査に関する記録を公表することができる。

3 委員は自己の申請に係わる審査に関与するこ

とができない。

第7条 審査の判定は次の各号に掲げる表示により行なう。

- (1) 承認
- (2) 条件付承認
- (3) 変更の勧告
- (4) 不承認
- (5) 非該当

第8条 委員長は審査の終了後速やかに審査の判定を、「研究倫理審査結果通知書」（様式3）により申請者に通知する。

2 審査の結果は理事会に報告し、同意を得て公表することを原則とする。公表に際しては関係者の人権侵害、名誉毀損等を生じないように配慮する。

3 審査記録は事務局で5年間以上保存する。

第9条 審査を受けた研究調査が終了した時は、研究調査責任者は委員会に結果の概要を報告する。

2 研究調査が長期に亘る場合には、研究調査責任者は委員会の求めに応じて途中経過を報告する。

3 実施中の研究調査に対して、委員会は研究調査の変更、中止その他必要と認める対処を求めることができる。

第10条 この規則の改廃は理事会の議を経て行なう。

2 この規則に定めるほか、委員会の運営に関して必要な事項は、理事会の承認を得て委員会が別に定めることができる。

付 則

1. この規則は、平成17年 6月24日から施行する。